

家庭用防カビ剤の吸入による肺障害の 1 例

石黒 卓¹

小林洋一¹

杉田英章²

仙波秀彦²

磯野泰輔¹

河端美則³

埼玉県立循環器・呼吸器病センター¹ 呼吸器内科,² 薬剤部,³ 病理
診断科

要旨

73 歳男性が次亜塩素酸ナトリウムを含む家庭用防カビ剤を使用した 3 日後から呼吸器症状を発症した。第 7 病日に当院を受診し、侵襲的人工呼吸管理を要した。ステロイド投与により呼吸状態は改善、第 11 病日に抜管し第 29 病日に退院した。ステロイドを漸減投与し中止したが発熱と息切れを自覚、肺生検にて通常型間質性肺炎パターンおよび *acute fibrinous and organizing pneumonia* の組織像を認めた。薬剤による肺障害かそれを契機とした間質性肺炎の急性増悪と考えた。

キーワード

次亜塩素酸ナトリウム, *sodium hypochloride*

家庭用カビ取り剤, *antifungal agent for home use*

再燃, *relapse*

間質性肺炎の急性増悪, *acute exacerbation of interstitial pneumonia*

通常型間質性肺炎, *usual interstitial pneumonia*

短縮タイトル:家庭用防カビ剤吸入による肺障害